

## 浜松市浜北中央北土地区画整理組合建設工事等の入札執行について(入札心得)

組合の建設工事等の入札に参加しようとする者(以下「入札参加者」という。)は、関係法令、規則並びに設計書、数量計算書、共通仕様書、特記仕様書、図面等(以下「設計書等」という。)その他契約締結に必要な条件を承諾のうえ、下記の事項を確認して入札に参加してください。

なお、随意契約(見積)による場合もこれに準じて執行するので、「入札」を「見積」と読み替えてください。

### 【入札日時の厳守】

1 入札参加者は、工事等の指名通知(以下「指名通知」という。)に記載した指名日時に指定場所へ入場できるようにしてください。

なお、時間に遅れた者は、棄権したものとみなします。

### 【入札の辞退】

2 指名通知を受けた者は、いつでも入札を辞退することができます。入札を辞退するときは、次の各号に従ってください。

(1) 入札執行前にあつては、入札辞退届を提出してください。

(2) 入札執行中にあつては、入札書に辞退する旨を記載してください。

3 入札を辞退した者は、これを理由として以後の指名等について不利益な取扱を受けることはありません。

### 【入札保証金】

4 入札保証金は、指名通知に特に記載してある場合を除き、金額免除といたします。

### 【入札の方法】

5 入札参加者は、入札金額を記入した入札書を封筒に入れ、工事費内訳書とともに提出してください。

なお、代理人により入札をするときは、委任状を併せて提出してください。

6 入札参加者(代理人を含む。)は、入札に使用する印鑑を必ず持参してください。

### 【入札金額】

7 入札金額は、消費税に係る課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を記入してください。

なお、落札決定に当たっては、入札書に記入された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額をもって落札価格とします。

8 入札書に記入する入札金額は、千円未満を丸めてください。

### 【入札の無効】

9 次の各号の一に該当する入札は、無効とします。

(1) 入札金額を訂正して入札をしたとき。

(2) 入札に参加する資格のない者が入札をしたとき。(委任状を持たない代理人が入札をしたとき等。)

(3) 金額及び氏名その他入札に関する要件を確認しがたい入札をしたとき。

(4) 入札者が協定して入札をしたとき。

(5) 入札に際して不正の行為があつた入札をしたとき。

(6) その他浜松市契約規則第13条に定める入札をしたとき。

### 【落札者の決定】

10 予定価格の制限範囲内で、最低の価格をもって入札した者を落札者とします。ただし、最低制限価格(または失格基準価格)を設定する入札において、最低制限価格(または失格基準価格)を下回る入札をした者は失格とします。

また、落札となるべき者が2人以上あるときは、直ちに、クジにより落札者を決定します。

11 調査基準価格を設定する入札においては、調査基準価格を下回る入札があつた場合には、落札を保留とし、調査のうえ落札者を決定し、調査基準価格を下回る入札がなかった場合には、前項の規定を準用します。

### 【再度の入札】

12 開札の結果、落札者がいないときは、1回を限度として再度の入札を行います。

13 最終入札の結果、落札者がいない場合で随意契約に切り替えることが可能であるときは、最低価格入札者から2回を限度として見積書を徴します。

14 再度の入札には、第9項に規定する無効の入札をした者は参加できません。

### 【契約の締結】

15 落札者は、落札の申し渡しを受けたときは、理事長が指定する日までに契約を締結してくださ

い。ただし、やむを得ない理由があると認められる場合には、その期間を延長することがあります。  
【契約の保証】

16 落札者は、契約の締結に際し、契約の保証(契約金額の100分の10以上に相当する額)として次のいずれかを選択していただきます。ただし、委託契約及び契約金額が300万円未満の工事については必要ありません。

- (1) 契約保証金の納付
- (2) 契約保証金に代わる担保となる有価証券の提供
- (3) 銀行、理事長が確実と認めるその他の金融機関又は前払保証事業会社の保証
- (4) 公共工事履行保証証券による保証
- (5) 履行保証保険の締結(定額てん補方式に限る。)

【同一工事入札参加者間の下請負の禁止】

17 元請負人は、理事長が特別の必要があると認めた場合を除き、同一工事に係る入札の参加者を当該工事の下請負人にしてはならない。

【異議の申立て】

18 入札者は、入札後、関係法令、規則及びこの心得並びに仕様書、設計書、図面及び現場の不明を理由として、異議を申し立てることはできません。